



10%ストップ! ネット板橋の結成=3月22日



商店街訪問・対話を広げる

「10%ストップ! ネット板橋」の取り組み

東京・板橋区でも消費税をなくす板橋の会、消費税廃止板橋連絡会を中心に地域ネット結成にむけた取り組みがすすめられてきました。

板橋で市民と野党の共闘のための団体(許さない! 戦争法 オール板橋行動(実行委員会))が結成されて以降、私たちとこれまで結びつきのなかった団体、個人の方とのつながりが生まれ、タウンミーティングや

意見交換のなかで理解が深まりました。昨年末、山田洋次監督、浜矩子同志社大学大学院教授らの呼びかけで「10月消費税10%ストップ! ネットワーク」が結成され、各地域での

ネット結成を呼びかけられました。板橋では、この間の共闘のつながりも生かし、野党の区議会議員、団体代表の方々にも「ネット板橋」の呼びかけ人になってもらうための働きかけをおこないました。

また、いままで以上の取り組みにしようとして、区内にある全商店街会長(約90商店街)宛てに、「ネット板橋」の呼びかけ人になっていただくことをお願いする要望書、10%中止の請願書、「団体署名の協力を」を送付しました。

商店街訪問・対話を重視

商店街への働きかけでは、商店街

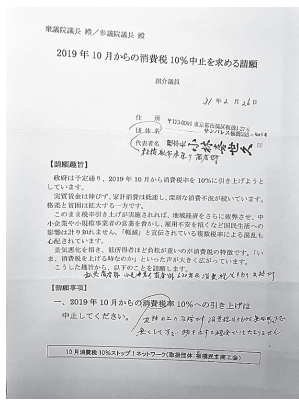
会長への訪問・対話を重視しました。

訪問・対話のなかで、商店会としては団体署名には協力できないが、「個人的には消費税を上げられるのは反対」という会長がほぼ全員でした。

なかには団体署名や呼びかけの文書に自分の思いを書き込んでくれた商店会長や、団体署名は無理だが、個人署名を集めてくれた商店会長もいました。

消費税を無くして欲しい

「私どもの商店街630店余り、消費税そのものに反対です」「消費税そのものを無くしてください」。また、「板橋区で32店あった呉服商店組合が解散しました。現在、呉服店は3店です」「増税されたら店を閉じるしかない」と、自分の思いを書



請願書に自分の思いが書かれている

いてくれました。

区内でも最大の商店街は、理事会を開催し団体署名への賛同を表明してくれました。また、その商店街元理事長で、現相談役の方が「ネット板橋」の呼びかけ人になってもらえ

るなど、いままではなかった大きな変化も実感しました。

取り組みのなかで10近くの商店会が解散していることも分かりました。本業だけではない深刻な状況も浮き彫りとなりました。こうした取り組みで22

人の呼びかけ人(現商店会長、相談役3人、区長選統一候補など)、10商店会からの団体署名を集め、3月22日「10月消費税10%ストップ! ネット板橋」を結成、呼びかけ人を代表し松島道昌区長選統一候補にあいさつしていただきました。10月の10%消費税増税を必ずストップさせるため、いま以上に団体署名や呼びかけ人を増やし、取り組みをさらに強めていきます。

板橋民主商工会

事務局長 古山 壽樹さん